

令和5年11月28日

第5回東京都エネルギー問題アドバイザーボード

【坂本局長】

それでは、定刻より若干早めではございますが、これより第5回となります東京都エネルギー問題アドバイザーボードを開会したいと思います。

私は議事が始まりますまでの間、進行役を務めます東京都産業労働局長の坂本でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、竹内委員が所用のため欠席のご連絡をいただいております。あと、今井委員が今こちらに向かっている途中でございまして、後ほど着席されるご予約でございます。岩船委員も遅れてご到着と承っております。

5名の方々のご議論を予定しているところでございます。

また、本日はオブザーバーとして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長の日野由香里様にもお越しいただいております。何とぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

それでは、初めに小池知事からご挨拶を頂戴できればと思います。よろしくお願いいたします。

【小池知事】

皆様、こんにちは。今日もお忙しいところ、都庁のほうにお越しいただいております。ありがとうございます。

これまでの会議ではエネルギーの利用、そして水素の利活用、その供給など、様々な観点からご意見を頂戴いたしてまいりました。もうすぐ12月ということですが、振り返ってみましても、今年は本当に荒れ狂う夏だったり、大雨だったり、森林火災もありました。自然災害の影響がいかにか大きいということ、また強靱かつ頻度が高いということで、本当に次から次へと災害に見舞われてきたということでもあります。一方でウクライナ情勢、そして中東情勢、エネルギーを取り巻く国際環境も非常に厳しさを増している。あれもこれも一気にどかんと来ているような、そういう状況ではないかと思えます。今日も11月末ですけれども、20度を超えるんじゃないかという話であります。

明日からCOPに行ってきます。今年もいろんな議論がされるかと思えますけれども、そこで今日のこのアドバイザーボードでお話しいただいている、例えば水素の話なども含めてしっかり発信もしていきたいと思っております。

また、再生可能エネルギーの確保などは戦略的に進めなければなりませんし、その切り札の一つが水素であることは言うまでもございません。そして、水素は何よりも大規模で長期間の貯蔵が可能であり、また季節や天候で発電量が変動する再生可能エネルギーの大量導入を支えるということができると。いろんなポイントがあるかと思えます。ぜひその活用策につきまして徹底的に突き詰めていきたいと、このように考えております。

また、東京都として、先日、これは水素の国際的なサプライチェーンの構築、技術開発を一層進めるということで、都市をメンバーとする新たな国際会議としてHydrogen Energy Conference for Action Tokyo 2023ということで、まとめるとHENCAになるわけございまして、参加者の方々はカリフォルニアのほうからも参加していただいたり、それからブリスベンからもリアルで参加していただいたり、皆さんには日本語も覚えて帰ってくださいね、HENCAというのはチェンジという意味ですよと言って、そこでみんなで合唱することはなかったんですが、HENCAという会議であるということは改めてご参加いただいた方には刻まれたかと思えます。

そして、水素の普及に先進的に取り組む方々ばかりでございましたので、2030年の社会実装化に向けました共同メッセージを発出することができました。この変化という言葉のとおり、今こそ具体的な行動で未来を変えていくときでございます。今年、みんなが肌感覚で、これはやばいぞということを感じ取った1年でございましたし、これがまた続くかもしれない。日本も夏と冬しか季節がないんじゃないかとよく言われるわけでございますけれども、そういう中で我が国として、また東京として何をすべきか、しっかりと水素の利活用などを中心としたエネルギーの有効な使い方、確保について、ぜひ皆様方でご議論いただきたいと思えます。よろしくお願い申し上げます。

なお、明日からの出発のために何かと立て込んでございまして、ご挨拶のみで恐縮でございます。失礼させていただきます。よろしくお願いいたします。

【坂本局長】

小池知事、ありがとうございました。

本日は委員の皆様にご協力いただき、実りある議論を行いたいと考えております。よろしくお願いいたします。

知事は、この後、別の公務もございますので、ここで退席をいたします。

(知事退室)

【小池知事】

よろしくお願いいたします。

【坂本局長】

また、報道関係の方におかれましては、事前にご案内をいたしましたが、公開はこちらまでとさせていただきます。こちらで皆様もご退室をお願いいたします。

(プレス退席)